

甲子園高校野球交流試合 昨夏決勝再現

履正社と星稜対戦

交流試合は8月10～12日、15～17日の計6日間、新型コロナウイルスで、感染拡大の影響で中止になった今春の第92回選抜大会の出場校に選ばれてきた32校を招待し、各校が1試合ずつ行う。開幕試合は分府市・花咲徳栄（埼玉）に決まり、この2校で開会式を実施する。

昨秋の明治神宮大会優勝の中京大（愛知）は暫弁学園（奈良）と対戦。大阪桐蔭は東海大相模（神奈川）、明石商（兵庫）は桐生第一（群馬）、警備（福島）は国士館（東京）との顔合わせ。

府県高野連が独自に主催する代替大会の日程が考

※前半は8月10～12日、後半は15～17日、13、14、18、19日は予備日。雨天順延。左が塁順。数字は試合順。

第1日 8月10日(月)	第4日 15日(土)
大分商 1 花咲徳栄 1 明徳義塾 2 鳥取北 2	履正社 1 星稜 1 大分商 2 国士館 2
第2日 11日(火)	第5日 16日(日)
天理 1 新庄 1 創成館 2 平島 2	仙台育英 1 倉敷商 1 岩手県 2 岡山 2
第3日 12日(水)	第6日 17日(月)
智弁学園 1 中京大 1 鹿兒島城西 2 加藤 2	大相模 1 東海大 1 白樺学園 2 山梨学院 2

好カードそろおう

「2020年甲子園高校野球交流試合」の組み合わせが決まり、昨夏の全国選手権大会決勝の再戦となる履正社・星稜など各校1試合限定の中で好カードがそろった。

履正社は、父に元プロ野球阪神の賢太郎氏を持つ関本主将と、昨夏の甲子園大会優勝に貢献した岩崎がバッテリーを組み、打線も小深田を中心に

で、好ゲームが期待される。投手では、昨秋の明治神宮大会を制した中京大の中京のエース高橋と、春夏連続で4強入りした昨年の甲子園大会でも背番号1を背負った明石商の中森が最速150km/hを超え、双璧をなす。

野手では、明石商のリードオフマンを務める来田や、東海大相模の山村、西川、鶴沼のトリオ、仙台育英の入江のプレーからも目を離せない。

慮され、さらに同道府県・同地区内同士の対戦も避けられた。

地域盛り上げる

○：選抜大会に21世紀枠で選ばれていた平田（島根）は創成館（長崎）と対戦する。

平田の保科主将は、オンラインでの抽選会に参加した32校の中で最初に抽選。緊張した表情だったが、終了後には「相手が決まり、わくわくする。甲子園で元気にプレーして地域を盛り上げたい」と笑顔を見せた。三島捕手は「相手がどこになるのか、授業中も気になっていた。甲子園で最後の試合ができるのがとても楽しみ」と話した。

植田監督は「相手が決まったとき、選手たちが『オー』という歓声が上がった。野球ができる喜びを感じてほしい」と話した。

倉敷商、仙台育英と対戦 「感謝してプレー」 甲子園交流試合へ決意

一度は諦めた聖地で東北の雄に挑む。8日に行われた「2020年甲子園高校野球交流試合」の組み合わせ抽選会。昨秋の中国大会を制覇した倉敷商（岡山）は同じく地区王者の仙台育英（宮城）と対戦することになり、選手たちは思いを新たにしていた。（一面関連）

昨夏まで春夏計13度の倉敷商に対し、相手は甲子園出場40度を誇る全国有数の名門。オンラインによる抽選に臨んだ原田将多主将は「3年」は「テレビで見ると憧れのチーム」と歓迎した。憧れのチームと歓迎した。悲しみに暮れたセンバツの中止決定から4カ月。「32校しか出られない特別な大会。感謝の気持ちを持ってやりたい」とかみしめた。

秋に強打のリードオフマン



集大成の夏に向け、打撃練習に励む倉敷商ナインー倉敷商高野球部グラウンド

ンとして打線を引っ張った石川陸一塁手（3年）は「甲子園は小学校の卒業文集に書いた夢。幸せを感じながらプレーしたい」と実感が湧いてきた様子で「自分のスイングに集中し、チームを勢いづける打撃をする」。甲子園で過去3度決勝進出を果たしている仙台育英は8強入りした昨夏の全国選手権の経験者も多く、投手にハイレベルだ。田村幸哉捕手（3年）は「厳しく低めのリードを意識し、最少失点で抑える。必ず勝って岡山に帰ってくる」と宣言した。

交流試合を前に、今月18日には全国選手権岡山大会に代わる夏季県大会が開戦する。一県大会で優勝することが仙台育英に勝つため

の道と梶山和洋監督（33）の熱い夏が本格化する。（岡崎創史、田井香葉子）